

第99回経営委員会議事概要

1. 日 時：2024年9月13日（金）13:28～15:23

2. 場 所：年金積立金管理運用独立行政法人 大会議室

3. 出席委員等：・山口委員長 ・新井委員長代理 ・板場委員 ・逢見委員 ・尾崎委員
・加藤委員 ・久保田委員 ・小宮山委員
・宮園理事長

※根本委員はWeb会議システムにより出席

4. 議事概要

【議決事項】

(1) 「アセットオーナー・プリンシプルの受入れ及び取組方針について（案）」

アセットオーナー・プリンシプルを受け入れる旨の公表及び取組方針の公表をするため、受入表明及び取組方針案について議決を行い、出席した 10 名の全委員の賛成により承認された。

質疑等の概要は以下のとおりである。

委員A 今後、プリンシプルの内容を変更する場合、経営委員会の議決が必要になるのか。

執行部 はい。経営委員会に諮ることになる。

【報告事項】

(1) 「2024年度第1四半期運用状況（速報）」

2024年度第1四半期運用状況（速報）について、執行部から報告があった。

(2) 「運用リスク管理状況等の報告(2024年度第1四半期)」

運用リスク管理状況等の報告(2024年度第1四半期)について、執行部から報告があった。

(3) 「2023年度ESG活動報告」

2023年度ESG活動報告について、執行部から報告があった。

質疑等の概要は以下のとおりである。

委員B グリーニアムの分析など新しい取り組みを行い、今年も大変に素晴らしいレポートを出

していただいて感謝する。

委員C 気候変動などは比較的分かりやすいが、生物多様性について書かれていることについて分かりやすく説明して欲しい。

執行部 御指摘のとおり生物多様性のリスクに関しては、気候変動のリスクよりも遥かに複雑で、個性が高く、難しい問題だと思っている。開示をするたびに悩みは深くなってしまう。ただ1点申し上げたいのは、個別企業においては生物多様性のリスクは食品業界や医薬品業界など、かなり身近になっている。個々の企業がこういった問題をしっかり理解して、認識いただくということは大事だと思っている。個々の企業に対し、リスクを認識してしっかり情報開示いただくということの重要性について伝えていく必要があると思っている。

(4) 「第5期中期計画策定について」

第5期中期計画策定について、執行部から報告があった。

質疑等の概要は以下のとおりである。

委員D 超過収益を得るための取組みについて、超過リターンに対するリスクをどこまで取るべきかという考え方を明確すべきである。

理事 先ほど委員から御指摘のあった、超過収益獲得のためにどれぐらいのリスクを取るべきかという議論について、年金全体の負債と我々の運用のアセットがきちんとマッチするというのを念頭に置きながら、超過収益をどういうふうを獲得していくのかということを考えることが大事だと思っている。

委員E 年金積立金の資産運用なので、国民に対する広報は重要な要素であり、高度化していく運用について、どのように国民に分かりやすく開示していくかという工夫が重要であるという認識を持っていただきたい。

(5) 「シニア IT アドバイザーの再委嘱について」

シニア IT アドバイザーの再委嘱について、執行部から報告があった。

(6) 「足元の運用リスク管理状況及び業務執行状況について」

足元の運用リスク管理状況及び業務執行状況について、執行部から報告があった。

【その他事項】

- ・議事録の作成及び議事概要の公表（4月19日及び5月17日開催分）について承認を得た。

以上